



青い空 緑の山と風
黄色のうねりは
人類の理想 文化を表わす。
それらが混然一体調和して
ロータリーの理想に向って
昂って行く姿を示している。



クラブの標語 "奉仕の実践"

...行動する多摩グリーン...

Weekly Report

日時 11月13日 午後6時30分

場所 京王プラザホテル多摩 樹林

議題 上半期活動報告とこれからの実施予定について

会費 5,000円(夕食付き)

(3) 地区ガバナー指名委員会からの報告

国際ロータリー細則第13条により、全員一致で東京町田RCの村野順三君を1998-99年度地区ガバナー候補者に指名しました。旨通知がありました。尚、地区内クラブで他に推薦者があり推薦されたい場合は11月15日までにガバナー事務局にお申出ください。

◎幹事報告

幹事 須藤 起雄

① 多摩東分区IMの出席について

11月21日(木)京王ホテルにて開催致します。

よって11月20日の例会はございません。

② 全日本ロータリークラブ96-97年度会員名簿訂正のご案内

③ 小野なおみさん、鈴木なつみさんの現状報告がテーブルに置いてございます。お読みになって下さい。

④ 新会員ロータリー情報セミナー開催ご案内

日時 平成9年1月28日(火) 登録受付 13時

セミナー開始 13時30分

場所 高輪カシホテル・カシルーム(地下1階)

出席者 入会満2年以内の会員(ご希望の方は3年未満も可)

会費 1万円(セミナー終了後、ガバナーを囲んで懇親会も開催します)

申込締切日 平成8年12月17日(火)

(1994.9月以降入会者)

加藤、遠藤(立)、井澤、坂田、田畑、山崎、内田、長谷川、杉野、宿院、小泉、福島、田島
(敬称略)

そのうち昨年度セミナー出席登録者

第294回例会報告 (11/13)

(1996年～1997年度第19回例会)

司会

SAA委員会委員 城倉 正博

◎点鐘

会長 遠藤 二郎

◎ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 吉沢 洋景

◎お客様紹介

会長 遠藤 二郎

榎本 隆乗様(東京多摩ロータリークラブ)

◎会務報告

会長 遠藤 二郎

会務報告に先立ちまして、先日FAXにてご報告申し上げましたが、宮本誠会員の御尊父、七郎様をご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げ、黙禱を捧げたいと思います。

(1) 多摩東分区 IMについて

日時 11月21日(木)12時30分登録開始

場所 京王プラザホテル多摩

尚、当クラブの前日の例会はIMに振替えと致します。

当クラブ出席者 45名(86.54%)

(2) 第2回クラブ協議会開催について

東京多摩グリーンロータリー・クラブ

会長: 遠藤 二郎

副委員長: 田畑 博

幹事: 須藤 起雄

委員: 大松誠二・伊藤英也・村上久

会報委員長: 小坂 一郎

杉野志保子・山崎光一

例会場 京王プラザホテル多摩(たまつばき)

事務局: 東京都多摩市落合1-43

京王プラザホテル多摩 561号

TEL 0423-72-6463/FAX 0423-72-6491

例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30

遠藤（立）、伊澤、坂田、田畑、鶴海 各会員

⑤ 平成9年6月開催 国際ロータリー年次大会

・スコットランド（グラスゴー）で開催

パンフレットの回覧及び参加希望者はFAXで事務局に報告して下さい。

委員会報告

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 平野 行廣

田島 真由美…だんだん慣れていきます。御指導ください。

絆 工房…先週絆工房参加者の気持として拠出いたします。

毎回盛況です。本日も第9回を開催いたします。

藤本 吉文…ニコニコが少なそうなのでニコニコしてニコニコします。

内田 茂男…実りの秋、貧者の一燈（あかり）です。

森田 舞子…10月の小春日和、孫3人の七五三お不動さまへお参りして無事すみました。

遠藤 二郎…お客様ようこそ。

村上 久 …さわやかな秋晴れです！

平野 行広…ニコニコの発表にあたりニコニコが少なかったのでニコニコ。

本日合計 金15,194円 （累計 493,733円）

◎出席報告 出席委員会 伊澤 ケイ子

会員総数 54名（出席義務免除者 1名）

出席者数 46名 欠席者数 8名

本日出席率 88.88 %

10/20 最終出席率 90.57 % (48/53)

10/30 訂正出席率 85.19 % (46/54)

欠席者 足立 潤三郎、大松 誠二、伊神 稔、
猪股 末男、北村 幸彦、新海 源四郎、田畑 博、
高村 弘
メイクアップ

坂田 育男 11/7 東村山RC

関岡 俊二 11/11 西北RC

◎国際大会の案内

赤尾 恭雄

・1997年6月15日～六月18日（グラスゴーにて）

今回、12月末までに第一回の登録をしないと、来年になりますと、17%位登録料が上ってしまいます。一人でも多くの方が参加して下さい。

◎ゴルフ同好会

海野 栄一

12月5日予定の年末スクラッチ会（忘年会含む）を12月12日に変更しました。出欠の有無を再度採りますので、FAXにてご連絡下さい。

・宮本会員より御挨拶

◎米山月間（10月）のお礼・お願い

平野 行廣

明日地区の中間報告をいたします。（多摩グリーンロータリーは順調にしておりますと報告致します。）まだ枠がございますので宜しくお願いします。

〈卓話〉 「ロータリー財団月間にちなんで」

ロータリー財団委員長 戸田 昭寿

1. ロータリー財団の活動プログラムについて

国際親善奨学生プログラム

同額補助金

研究グループ交換

ポリオ・プラス・プログラム

3-H補助金プログラム

ロータリー・ボランティア・プログラム

世界社会奉仕助成金

開発途上国で奉仕する大学教員のための補助金

ロータリー平和プログラム

2. ロータリー財団月間について

3. ロータリー財団寄付について

年場寄付と恒久基金の必要性

年次寄付の内容

ポール・ハリス準フェロー

ポール・ハリスフェロー

ベルファクター

4. ロータリー財団受入奨学生の目に映った日本の印象

それでは「ロータリー財団」はどのような仕事をしているかを簡単に説明させていただきます。ロータリー財団のプログラムを広く活動することにより、又クラブレベルの支援を奨励するという事です。どのようなプログラムを行っているかと申しますと①国際親善奨学金プログラム—これは奨学金制度で、財団の留学生のお世話をしたりします。それと②同額補助金プログラムがあります。これは具体的には例えば、ジンバブエという国がありますが、そのある村の太陽熱を利用した吸水ポンプを提供したり、又インドの目の不自由な人々の視力を回復する為のアイキャンプを主催したりしております。次に③研究グループの交換というプログラムがあります。これは異なる国に問いあわせしまして、ロータリアンでない人々に対してチームを作りその交換の為の旅費等の支給をするという様な内容です。

それに一番有名なひとつにポリオプラスプログラムというのがあります。これは世界中からポリオをなくするという事です。一応ポリオについては、目標がありまして2000年においてポリオを撲滅するという目標を掲げております。2005年には「ポリオ撲滅宣言」をしようとしております。その他いろいろなプログラムがありますが、保健・飢餓追放、人間性尊重の補助金プログラム、大規模な世界社会奉仕プロジェクトを支援しますという事です。具体的には、それぞれの国々において行なうのですが、例えばバングラディッシュにおいては、内陸漁業プロジェクトに対して補助金を出して蛋白質の供給を行うとか、又、ウガンダでは、栄養センターを開設して業務をするとか行っております。他にはロータリーのボランティアプログラムがあります。それから世界社会奉仕助成金というのがあります。これはプロジェクトがありますが、プロジェクトそのものにお金を出すという事ではなくて、人間交流を支援するというプログラムがあります。それから、開発途上で奉仕する大学教員の為の補助金というプログラム、他にもいろいろございます。このような事業を行う為にはお金がいります。そのお金を皆様方からご寄附を頂いて事業を行なうという事です。

寄附には二種類あります。ひとつは、年次寄附、これはどのように使われているかと申しますと、国際親善奨学生、同額補助金、スリーHの補助金等、毎年年次毎に行なわれるプログラムにお金を使います。今どの位になっているかと申しますと、当初1971、1972年度頃には、350万ドル

位でした。1994～5年度には5,360万ドルです。もうひとつは「恒久基金」です。これは以前世界理解と平和の為のロータリー財団基金といわたものです。これは現在統計2,700万ドルになっております。これはそのまま使うということではなくて貯ったお金を投資をしてその収益をプログラムに使うというものです。従ってこの2つの寄附によってロータリー財団の基礎ができております。恒久基金の目標は、2005年（ロータリーの100周年記念ですが）の目標は2億ドルでございます。最後の目標は10億ドルです。

さて、具体的に寄附はどのように行なわれるかと申しますと、実は5月位に本部より今年度の目標が一応地区毎の目標がよせられます。当地区では月間7,000ドル（年間）位になります。

それでは寄附の中味ですが、3種類あります。

1. ポール・ハリス準フェロー これは100ドルです。申込みを頂きますと、1,000ドルに達するまで寄附をしますという意思の表明を頂いたとなります。
2. ポール・ハリスフェロー これは1,000ドルです。1,000ドルに達すると称号が与えられます。
3. ベネファクター これは1,000ドルです。

最後にロータリー財団受入奨学生の目に映った日本の印象を披露してお話を終わらせて頂きます。

奨学生のアンケートをとった結果21才—25才までの方が一番多かったのですが、最年長は40才の方までいらっしゃいます。男女別でも大体半々です。

文化研修の為の国際親善奨学生と一年間の国際親善奨学生が6：4の比率です。教育機関は日本語学校に行っている人が大半です。

「全員が日本に留学して良かったか？」という質問に関しては全員が良かったと答えています。

「日本で一番楽しかったこと、良かったこと」に関する答えの中で一番多かったのは「文化が異なる地域でも生活できる自信が持てた」という事です。

2番目は「自由に勉強できる」という事です。

3番目は「日本の文化を理解することができた」という順番でした。